

ライフジャケット・オン!

ライフジャケットを
正しく着けて、
楽しく遊ぼう!

ベルトを締め、体をフィット
させることで脱げにくくなる。



股下ベルトがある(子ども用)

ライフジャケット

水面でも呼吸が
できるようにする。

体温を奪われない
ようにする。

乾きやすい
服装(水着など)



足を守る。
脱げないようにする。

運動靴など

水抜き穴がある



大切な頭を守る。

ヘルメット(あれば)

発行 (公財)河川財団 子どもの水辺サポートセンター

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 11-9
住友生命日本橋小伝馬町ビル 2F 公益財団法人 河川財団内
TEL:03-5847-8307
http://www.mizube-support-center.org

川で遊ぶ時は、まずチェック!

CHECK
1

川に出かけるときは
まず、天気をチェック!

行き先には、大雨注意報・警報は
出ていませんか?



天気予報専門サイト
tenki.jp
(一財)日本気象協会



バーコードの使い方

バーコードリーダー対応の携帯に限りです

1



携帯電話のバー
コードリーダー
を起動し、垂直
になるように撮
影します。

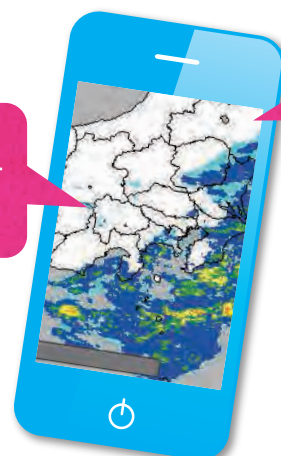
2



サイトが表示
されます。

川の防災情報

提供
国土交通省



左の画面は、東京近郊のレー
ダー雨量画面です。国土交通省
では川の防災情報を携帯電話
向けに情報提供しています。



CHECK
2

川のリアルタイムな
情報をチェック!

川に着いたらレーダー雨量や
水位を確認しよう!

テレメーター水位

現在水位: 1.47m

水防団待機水位: 3.70m

はん濫注意水位: 4.60m

避難判断水位: 5.70m

はん濫危険水位: 6.69m

1時間履歴

	水位m	増減
14:40	1.47	↑
14:30	1.44	→
14:20	1.44	↓
14:10	-	-
14:00	1.45	↓
13:50	1.47	→
13:40	1.47	↓

知識

天気情報(注意報・警
報、雨量等)をメールで
教えてくれるサービス
もあります。



川遊び安全ノート

えんぴす
りんぱい



(公財)河川財団 子どもの水辺サポートセンター



川のことをよ〜く知って、いっぱい遊ぼう！

川で遊ぶことは、すごく楽しい。魚捕りやカヌー、水遊び、沢山の楽しみが待っている。でも川には、危険な一面もあるんだ。「天気」に常に気を配る、「川の様子をよく見る」などいくつかの注意で、水難事故を未然に防ぎ、安全に川を楽しもう！

だるまキャラの「山田るま」ちゃんが、ライフジャケットを着て「川田るま」に変身！

水の中でも頭が浮き上がるダルマとして、子どもたちの安全で楽しい川遊びを応援します！



① 川に行く前にチェック！

- ✓ 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- ✓ バーベキューやキャンプなどでも川に近づく場合はライフジャケットを用意しよう！（大人も子どもも）



② 川に着いたら安全も確認！

- ✓ 川に関する看板があれば確認しよう。
- ✓ 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもから目をはなさないように。（堰付近は川遊びにはキケン・近づかない！）
- ✓ 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況について把握しよう。



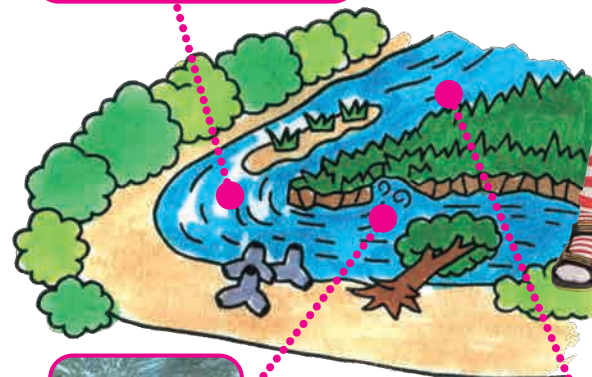
③ 表面は穏やかでも水中は注意！

- ✓ 川には流れがあり、常に**変化**しているぞ！
- ✓ 一見穏やかに見えても、急に**深くなる所**や、**滑りやすい所**があるぞ！
- ✓ 川の事故の約90%は、穏やかな流れや浅瀬で発生しているぞ！

だからライフジャケットが必要なんだぞ！



浅瀬に見えても…
中は激流！



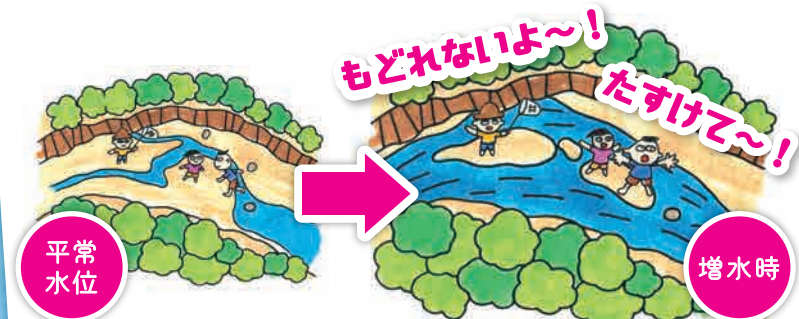
穏やかな流れの中は、
渦を巻いていることも！



川底は滑り易かったり
石につまづいて転びやすい

④ こんな場所は急な増水に注意！

- ✓ 河原は、増水の際は川底になるぞ。特に中州にいと、増水したら取り残されるぞ！



川原に草が生えていない所は、増水時に水が流れていることの「証」

⑤ すぐに避難！

- ✓ 増水の前ぶれや、警報が鳴ったら直ちに避難しよう！すぐに水位が上がってくるぞ！
- ✓ パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

避難の遅れは事故につながるぞ！



増水の前ぶれはこんな時！

1. 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。



※もし誰かが流されたら、浮くもの等を投げよう（子どもは大人を呼ぼう！）。救助する大人が事故に合わないよう、大人もライフジャケットを！